

特徴と役割の異なる4つの主要な計算サブシステムと2種類のストレージなどから構成される。総理論演算性能 **15.88 PFLOPS**。利用ポイントは全サブシステム共通で利用可能。2020年7月1日サービス運用開始。

Type I サブシステム

世界初の本格運用となる「富岳」型計算システム。
「京」、FX10、FX100向けに開発したプログラムを活用しやすい。

FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX1000

- A64FX CPU×1搭載、2,304ノード
- 3.3792 TFLOPS×2,304ノード = **7.782 PFLOPS**



Type II サブシステム

名大センター初の大規模GPUシステム。
データ科学・機械学習・AI処理に適する。

FUJITSU Server PRIMERGY CX2570 M5

- Intel Xeon CPU×2 + NVIDIA V100 GPU×4 搭載、221ノード
- 33.888 TFLOPS×221ノード = **7.489 PFLOPS**
- 1ノードあたり6.4TBのSSDを搭載、SSDを用いた共有ストレージ（BeeGFS/BeeOND/NVMesh）を提供



Type III サブシステム

大容量の共有メモリを搭載したサブシステム。大規模プリポスト処理や可視化処理に適する。

HPE Superdome Flex

- Intel Xeon CPU×16 + NVIDIA Quadro RTX6000×4搭載、2ノード
- 1ノードあたり**24TiB**の大容量メモリを搭載
- 可視化室に設置された可視化装置と接続



クラウドシステム

一般的なバッチジョブ実行に加えて、開始時刻を指定してのバッチジョブ実行/インタラクティブ実行が可能。

HPE ProLiant DL560

- Intel Xeon CPU×4搭載、100ノード
- 5.376 TFLOPS×100ノード = 537.6 TFLOPS



ストレージシステム

実効容量約30PBの高信頼性大規模ストレージ（ホットストレージ）に加えて、データアーカイブ用の光ディスク装置（コールドストレージ）を提供（世界初）。

ホットストレージ：FUJITSU PRIMERGY RX2540 M5 / ETERNUS AF250 S2 + DDN SFA18KE / SS9012

- **30PB**、RAID6、FEFS

コールドストレージ：Sony PetaSite拡張型ライブラリ

- Phase1 484 TB, Phase2(2021.02~) **6 PB/Max 10.89 PB**

